

システム名	災対用ビル別情報マップ	
章番号	第3章 機能設計	
	機能名	
	3. 1. 7 ビルデータ登録	
	3. 1. 7. 1 ビルデーター覧	
	3. 1. 7. 2 ビルデータ登録	
	3. 1. 7. 3 ビルデータ詳細	
	3. 1. 7. 4 ビルデータ修正	
	3. 1. 7. 5 ビルデータCSV登録	

システム名 災対用ビル別情報マップ

章番号 第3章 機能設計

機能名

3. 1. 7 ビルデータ登録

画面名 3. 1. 7. 1 ビルデーター一覧

【1】イベント 1/6

No.	項目名	トリガー	処理内容						
1	—	初期表示	<p><1.1 前提条件></p> <p>1.1.1 地図画面より遷移する。</p> <p>1.1.2 ビルデータ登録画面より遷移する。</p> <p>1.1.3 ビルデータ詳細画面より遷移する。</p> <p>1.1.4 ビルデータCSV登録画面より遷移する。</p> <p><1.2 初期処理></p> <p>1.2.1 画面入力項目を初期化する。</p> <p>1.2.2 メッセージエリアを初期化する。</p> <p>1.2.3 ヘッダーバーを初期化する。</p> <ul style="list-style-type: none">・ ログイン中ユーザのユーザ名と組織名1をDBから取得する。・ ユーザ名をヘッダー文言①に、組織名1をヘッダー文言②に表示する。 <p>1.2.4 組織名プルダウンを、ログイン中ユーザの権限(ユーザレベル)に従って生成する。</p> <table><tr><th>ユーザレベル</th><th>組織名プルダウン生成内容</th></tr><tr><td>本社 支店</td><td><ul style="list-style-type: none">・ DBに登録された未削除の情報から生成する。・ 組織コードの昇順でソートする。・ 選択可能な組織名が複数の場合、初期値として、“--選択してください--”を選択状態にする。・ 選択可能な組織名が単一の場合、初期値として、ユーザ情報の組織名1を選択状態にする。</td></tr><tr><td>グループ会社</td><td><ul style="list-style-type: none">・ DBに登録された未削除の情報から、ログイン中ユーザの組織コード(1～10)と一致する情報から生成する。・ 組織コードの昇順でソートする。・ 選択可能な組織名が複数の場合、初期値として、“--選択してください--”を選択状態にする。・ 選択可能な組織名が単一の場合、初期値として、ユーザ情報の組織名1を選択状態にする。</td></tr></table> <p>1.2.5 DBに登録された未削除のビルデータ情報から、組織名プルダウンに設定した全ての組織に紐づく、ビルデータ情報を全て抽出する。</p> <p>1.2.6 ビル名プルダウンを、抽出したビルデータ情報から生成する。</p> <ul style="list-style-type: none">・ ビルコードが重複するデータは除外する。・ ビルコードの昇順でソートする。・ 初期値として“--選択してください--”を選択状態にする。 <p>1.2.7 会社名プルダウンを、抽出したビルデータ情報から生成する。</p> <ul style="list-style-type: none">・ 会社IDが重複するデータは除外する。・ 会社IDの昇順でソートする。・ 初期値として“--選択してください--”を選択状態にする。	ユーザレベル	組織名プルダウン生成内容	本社 支店	<ul style="list-style-type: none">・ DBに登録された未削除の情報から生成する。・ 組織コードの昇順でソートする。・ 選択可能な組織名が複数の場合、初期値として、“--選択してください--”を選択状態にする。・ 選択可能な組織名が単一の場合、初期値として、ユーザ情報の組織名1を選択状態にする。	グループ会社	<ul style="list-style-type: none">・ DBに登録された未削除の情報から、ログイン中ユーザの組織コード(1～10)と一致する情報から生成する。・ 組織コードの昇順でソートする。・ 選択可能な組織名が複数の場合、初期値として、“--選択してください--”を選択状態にする。・ 選択可能な組織名が単一の場合、初期値として、ユーザ情報の組織名1を選択状態にする。
ユーザレベル	組織名プルダウン生成内容								
本社 支店	<ul style="list-style-type: none">・ DBに登録された未削除の情報から生成する。・ 組織コードの昇順でソートする。・ 選択可能な組織名が複数の場合、初期値として、“--選択してください--”を選択状態にする。・ 選択可能な組織名が単一の場合、初期値として、ユーザ情報の組織名1を選択状態にする。								
グループ会社	<ul style="list-style-type: none">・ DBに登録された未削除の情報から、ログイン中ユーザの組織コード(1～10)と一致する情報から生成する。・ 組織コードの昇順でソートする。・ 選択可能な組織名が複数の場合、初期値として、“--選択してください--”を選択状態にする。・ 選択可能な組織名が単一の場合、初期値として、ユーザ情報の組織名1を選択状態にする。								

システム名 災対用ビル別情報マップ

章番号 第3章 機能設計

機能名

3. 1. 7 ビルデータ登録

画面名 3. 1. 7. 1 ビルデーター一覧

【1】イベント 2/6

No.	項目名	トリガー	処理内容																										
1	1.2.8 検索エリアの初期値の条件で、未削除のビルデーター一覧を全て抽出する。 ・ 検索項目が未入力の項目は、該当項目について全件検索とする。 ※組織名プルダウンに設定されていない組織のビルデータ情報を除く。 <table><tr><th>検索項目</th><th>検索条件</th></tr><tr><td>ビルコード</td><td>完全一致検索。</td></tr><tr><td>組織名</td><td>完全一致検索。</td></tr><tr><td>ビル名</td><td>完全一致検索。</td></tr><tr><td>会社名</td><td>完全一致検索。</td></tr><tr><td>住所</td><td>あいまい検索可能。</td></tr><tr><td>最終更新日時</td><td>最終更新日時が指定期間内のデータを検索。</td></tr></table> 1.2.9 抽出したビルデーター一覧の件数を、ヘッダー文言③に表示する。 1.2.10 正規社員数、非正規社員数の設定を行う。 <table><tr><th>項目名</th><th>設定方法</th></tr><tr><td>正社員数</td><td>区分が正社員数の人数を合計する。</td></tr><tr><td>非正社員数</td><td>区分が非正社員数の人数を合計する。</td></tr></table> 1.2.11 抽出したビルデーター一覧を、ビルデーター一覧エリアに表示する。 ・ 以下のソート項目で並び替えした後に初期表示する。 <table><tr><th>ソート項目</th><th>ソート順</th></tr><tr><td>ビルコード</td><td>昇順</td></tr><tr><td>会社ID</td><td>昇順</td></tr></table> ・ 結果がゼロ件の場合、下記項目を非活性にする。 ・ ページ遷移リンク 1.2.12 ページ遷移リンクの設定。 ・ 次ページがある場合は、次ページリンクを設定する。 ・ 前ページのリンクは、テキストの表示のみとする。			検索項目	検索条件	ビルコード	完全一致検索。	組織名	完全一致検索。	ビル名	完全一致検索。	会社名	完全一致検索。	住所	あいまい検索可能。	最終更新日時	最終更新日時が指定期間内のデータを検索。	項目名	設定方法	正社員数	区分が正社員数の人数を合計する。	非正社員数	区分が非正社員数の人数を合計する。	ソート項目	ソート順	ビルコード	昇順	会社ID	昇順
検索項目	検索条件																												
ビルコード	完全一致検索。																												
組織名	完全一致検索。																												
ビル名	完全一致検索。																												
会社名	完全一致検索。																												
住所	あいまい検索可能。																												
最終更新日時	最終更新日時が指定期間内のデータを検索。																												
項目名	設定方法																												
正社員数	区分が正社員数の人数を合計する。																												
非正社員数	区分が非正社員数の人数を合計する。																												
ソート項目	ソート順																												
ビルコード	昇順																												
会社ID	昇順																												
2	検索ボタン	押下時	<2.1 前提条件> 2.1.1 検索ボタンを押下する。 <2.2 一覧検索処理> 2.2.1 属性チェック ・ チェック内容は、【2】の属性チェックを参照。 ・ 未入力の場合、チェックしない。 2.2.2 有効年月日時分チェック ・ チェック内容は、【2】の有効年月日時分チェックを参照。 ・ 未入力の場合、チェックしない。 2.2.3 年月日時分逆転チェック ・ チェック内容は、【2】の年月日時分逆転チェックを参照。 ・ 未入力の場合、チェックしない。																										

システム名 災対用ビル別情報マップ

章番号 第3章 機能設計

機能名

3. 1. 7 ビルデータ登録

画面名 3. 1. 7. 1 ビルデーター一覧

【1】イベント 3/6

No.	項目名	トリガー	処理内容														
2	2.2.4 検索エリアの各入力欄のAND条件で、未削除のビルデーター一覧を全て抽出する。 ・ 検索項目で未入力を指定した項目は、該当項目について全件検索とする。 ※組織名プルダウンに設定されていない組織のビルデータ情報を除く。																
	<table><tr><th>検索項目</th><th>検索条件</th></tr><tr><td>ビルコード</td><td>完全一致検索。</td></tr><tr><td>組織名</td><td>完全一致検索。</td></tr><tr><td>ビル名</td><td>完全一致検索。</td></tr><tr><td>会社名</td><td>完全一致検索。</td></tr><tr><td>住所</td><td>あいまい検索可能。</td></tr><tr><td>最終更新日時</td><td>最終更新日時が指定期間内のデータを検索。</td></tr></table>			検索項目	検索条件	ビルコード	完全一致検索。	組織名	完全一致検索。	ビル名	完全一致検索。	会社名	完全一致検索。	住所	あいまい検索可能。	最終更新日時	最終更新日時が指定期間内のデータを検索。
	検索項目	検索条件															
	ビルコード	完全一致検索。															
	組織名	完全一致検索。															
	ビル名	完全一致検索。															
	会社名	完全一致検索。															
	住所	あいまい検索可能。															
	最終更新日時	最終更新日時が指定期間内のデータを検索。															
	2.2.5 抽出したビルデーター一覧の件数を、ヘッダー文言③に表示する。																
2.2.6 正規社員数、非正規社員数の設定を行う。																	
<table><tr><th>項目名</th><th>設定方法</th></tr><tr><td>正社員数</td><td>区分が正社員数の人数を合計する。</td></tr><tr><td>非正社員数</td><td>区分が非正社員数の人数を合計する。</td></tr></table>			項目名	設定方法	正社員数	区分が正社員数の人数を合計する。	非正社員数	区分が非正社員数の人数を合計する。									
項目名	設定方法																
正社員数	区分が正社員数の人数を合計する。																
非正社員数	区分が非正社員数の人数を合計する。																
2.2.7 抽出したビルデーター一覧を、ビルデーター一覧エリアに表示する。 ・ 以下のソート項目で並び替えした後に再表示する。																	
<table><tr><th>ソート項目</th><th>ソート順</th></tr><tr><td>ビルコード</td><td>昇順</td></tr><tr><td>会社ID</td><td>昇順</td></tr></table>			ソート項目	ソート順	ビルコード	昇順	会社ID	昇順									
ソート項目	ソート順																
ビルコード	昇順																
会社ID	昇順																
・ 結果がゼロ件の場合、下記項目を非活性にする。 ・ ページ遷移リンク																	
2.2.8 ページ遷移リンクの設定。 ・ 次ページがある場合は、次ページリンクを設定する。 ・ 前ページのリンクは、テキストの表示のみとする。																	
3	クリアボタン	押下時															
	<3.1 前提条件> 3.1.1 クリアボタンを押下する。																
	<3.2 クリア処理> 3.2.1 検索エリアの各項目を、初期表示時の状態に戻す。 3.2.2 メッセージエリアを初期化する。																
4	ビル登録画面へボタン	押下時															
	<4.1 前提条件> 4.1.1 ビル登録画面へボタンを押下する。																
	<4.2 画面遷移処理> 4.2.1 ビルデータ登録画面に遷移する。																

システム名

災対用ビル別情報マップ

章番号

第3章 機能設計

機能名

3. 1. 7 ビルデータ登録

画面名

3. 1. 7. 1 ビルデーター一覧

【1】イベント 4/6

No.	項目名	トリガー	処理内容														
5	ビルCSV登録画面へボタン	押下時	<div><5.1 前提条件> 5.1.1 ビルCSV登録画面へボタンを押下する。</div> <div><5.2 画面遷移処理> 5.2.1 ビルデータCSV登録画面に遷移する。</div>														
6	ビルCSV出力ボタン	押下時	<div><6.1 前提条件> 6.1.1 ビルCSV出力ボタンを押下する。</div> <div><6.2 ビルデーター一覧出力処理> 6.2.1 検索エリアの各入力欄のAND条件で、未削除のビルデーター一覧を全て抽出する。<div>・ 検索項目で未入力を指定した項目は、該当項目について全件検索とする。 ※組織名プルダウンに設定されていない組織のビルデータ情報を除く。</div><table><tr><th>検索項目</th><th>検索条件</th></tr><tr><td>ビルコード</td><td>完全一致検索。</td></tr><tr><td>組織名</td><td>完全一致検索。</td></tr><tr><td>ビル名</td><td>完全一致検索。</td></tr><tr><td>会社名</td><td>完全一致検索。</td></tr><tr><td>住所</td><td>あいまい検索可能。</td></tr><tr><td>最終更新日時</td><td>最終更新日時が指定期間内のデータを検索。</td></tr></table></div> <div>6.2.2 表示件数のチェック データの存在チェックを行う。チェック内容は【2】ファイルデータ存在チェック参照。</div> <div>6.2.3 ビルデーター一覧をCSVファイルで出力する。<div>[出力項目、処理の詳細] 5. 2 ファイル設計 5. 2. 2 ビルデータCSV参照。 [出力ファイル名] 「ビル情報_xxxx_yyyymmddhhmmss.csv」 (※xxxxには処理ユーザIDを設定) (※yyymmddhhmmssには、システム日付、時分秒を設定) [出力ソート順] 出力ソート順は表示中の一覧の順序に準じる。</div></div>	検索項目	検索条件	ビルコード	完全一致検索。	組織名	完全一致検索。	ビル名	完全一致検索。	会社名	完全一致検索。	住所	あいまい検索可能。	最終更新日時	最終更新日時が指定期間内のデータを検索。
検索項目	検索条件																
ビルコード	完全一致検索。																
組織名	完全一致検索。																
ビル名	完全一致検索。																
会社名	完全一致検索。																
住所	あいまい検索可能。																
最終更新日時	最終更新日時が指定期間内のデータを検索。																

システム名 災対用ビル別情報マップ

章番号 第3章 機能設計

機能名

3. 1. 7 ビルデータ登録

画面名 3. 1. 7. 1 ビルデーター一覧

【1】イベント 5/6

No.	項目名	トリガー	処理内容										
7	一覧行選択リンク	クリック時	<div><7.1 前提条件> 7.1.1 ビルデーター一覧の行にカーソルを合わせ、行をクリックする。</div> <div><7.2 画面遷移処理> 7.2.1 指定された行のビルデータ情報のビルデータ詳細画面へ遷移する。</div>										
8	一覧表示件数切替	変更時	<div><8.1 前提条件> 8.1.1 一覧表示件数を別の値に変更する。</div> <div><8.2 ビルデーター一覧更新処理> 8.2.1 指定した表示件数をもとに、表示中のビルデーター一覧を再表示する。</div>										
9	ページ遷移リンク	クリック時	<div><9.1 前提条件> 9.1.1 前ページ遷移リンクをクリックする。 9.1.2 次ページ遷移リンクをクリックする。</div> <div><9.2 ビルデーター一覧更新処理> 9.2.1 表示中のビルデーター一覧について、遷移先ページの内容に更新する。 9.2.2 次ページがある場合は、次ページのリンクを設定、 前ページがある場合は、前ページのリンクを設定する。</div>										
10	ソートリンク	クリック時	<div><10.1 前提条件> 10.1.1 各ソートリンクをクリックする。</div> <div><10.2 ビルデーター一覧更新処理> 10.2.1 表示中の一覧について、ソート順を変更後再表示する。<table><tr><th>ソート項目</th><th>ソートキーの属性</th></tr><tr><td>ビルコード</td><td>数字</td></tr><tr><td>正社員数</td><td>数字</td></tr><tr><td>非正規社員数</td><td>数字</td></tr><tr><td>最終更新日時</td><td>年月日時分</td></tr></table></div>	ソート項目	ソートキーの属性	ビルコード	数字	正社員数	数字	非正規社員数	数字	最終更新日時	年月日時分
ソート項目	ソートキーの属性												
ビルコード	数字												
正社員数	数字												
非正規社員数	数字												
最終更新日時	年月日時分												

システム名

災対用ビル別情報マップ

章番号

第3章 機能設計

機能名

3. 1. 7 ビルデータ登録

画面名

3. 1. 7. 1 ビルデータ一覧

【1】イベント 6/6

No.	項目名	トリガー	処理内容
11	地図に戻るボタン	クリック時	
	<11.1 前提条件> 11.1.1 地図に戻るボタンを押す。		
	<11.2 戻る処理> 11.2.1 地図画面に戻る。		
12	前に戻るボタン	クリック時	
	<12.1 前提条件> 12.1.1 前に戻るボタンを押す。		
	<12.2 戻る処理> 12.2.1 前画面に戻る。		

システム名 災対用ビル別情報マップ

章番号 第3章 機能設計

機能名

3. 1. 7 ビルデータ登録

画面名 3. 1. 7. 1 ビルデータ一覧

【2】チェック処理 1/1

No.	名称	OKとなる条件		
		エラーの条件	エラーメッセージ	表示場所
1	属性チェック (全半角)	”全半角”項目(※3)について、半角 + 全角(機種依存文字『ローマ数字、マルつき数字、単位、カッコつき文字』等を除く)のみ入力していること。		
		上記条件を満たさない。	EA0007	メッセージエリア
2	属性チェック (数字)	”数字”項目(※4)について、数字のみ入力していること。		
		上記条件を満たさない。	EA0002	メッセージエリア
3	有効年月日時分 チェック	最終更新日時(開始)が、日時として有効であること。 (※時分未入力の場合、「00時00分」でチェックする)		
		上記条件を満たさない。	EA0009	メッセージエリア
		最終更新日時(終了)が、日時として有効であること。 (※時分未入力の場合、「00時00分」でチェックする)		
		上記条件を満たさない。	EA0009	メッセージエリア
4	年月日時分逆転 チェック	最終更新日時(開始) <= 最終更新日時(終了)。 (※時分未入力の場合、「00時00分」でチェックする)		
		上記条件を満たさない。	EA0015	メッセージエリア
5	ファイルデータ存在 チェック	表示件数が1件以上の場合		
		上記条件を満たさない。	EG0001	メッセージエリア

※1 エラーメッセージについては、「メッセージ一覧」を参照のこと。

※2 エラーメッセージの表示場所については、「標準化設計」を参照のこと。

※3 ”全半角”項目

項目名	トリガー
住所	(検索ボタン押下)

※4 ”数字”項目

項目名	トリガー
ビルコード	(検索ボタン押下)

システム名 災対用ビル別情報マップ

章番号 第3章 機能設計

機能名

3. 1. 7 ビルデータ登録

画面名 3. 1. 7. 2 ビルデータ登録

【1】イベント 1/3

No.	項目名	トリガー	処理内容						
1	—	初期表示	<p><1.1 前提条件></p> <p>1.1.1 ビルデータ一覧画面より遷移する。</p> <p><1.2 初期処理></p> <p>1.2.1 画面入力項目を初期化する。</p> <p>1.2.2 メッセージエリアを初期化する。</p> <p>1.2.3 ヘッダーバーを初期化する。</p> <ul style="list-style-type: none">・ ログイン中ユーザのユーザ名と組織名1をDBから取得する。・ ユーザ名をヘッダー文言①に、組織名1をヘッダー文言②に表示する。 <p>1.2.4 組織名プルダウンを、ログイン中ユーザの権限(ユーザレベル)に従って生成する。</p> <table><tr><th>ユーザレベル</th><th>組織名プルダウン生成内容</th></tr><tr><td>本社</td><td><ul style="list-style-type: none">・ DBに登録された未削除の情報から生成する。・ 組織コードの昇順でソートする。・ 選択可能な組織名が複数の場合、初期値として ”―選択してください―”を選択状態にする。・ 選択可能な組織名が単一の場合、初期値として ユーザ情報の組織名1を選択状態にする。</td></tr><tr><td>支店 グループ会社</td><td><ul style="list-style-type: none">・ DBに登録された未削除の情報から、ログイン中ユーザの 組織コード(1～10)と一致する情報から生成する。・ 組織コードの昇順でソートする。・ 選択可能な組織名が複数の場合、初期値として ”―選択してください―”を選択状態にする。・ 選択可能な組織名が単一の場合、初期値として ユーザ情報の組織名1を選択状態にする。</td></tr></table> <p>1.2.5 会社名プルダウンを、DBに登録された未削除の情報から生成する。</p> <ul style="list-style-type: none">・ 会社IDの昇順でソートする。・ 初期値として”―選択してください―”を選択状態にする。 <p>1.2.6 会社名(選択／入力)ラジオボタン項目について初期値を設定する。</p> <ul style="list-style-type: none">・ ”選択”を選択状態にする。 <p>1.2.7 会社名欄の初期化を行う。</p> <ul style="list-style-type: none">・ 会社名プルダウンを活性化する。・ 会社名(入力)欄を非活性化する。	ユーザレベル	組織名プルダウン生成内容	本社	<ul style="list-style-type: none">・ DBに登録された未削除の情報から生成する。・ 組織コードの昇順でソートする。・ 選択可能な組織名が複数の場合、初期値として ”―選択してください―”を選択状態にする。・ 選択可能な組織名が単一の場合、初期値として ユーザ情報の組織名1を選択状態にする。	支店 グループ会社	<ul style="list-style-type: none">・ DBに登録された未削除の情報から、ログイン中ユーザの 組織コード(1～10)と一致する情報から生成する。・ 組織コードの昇順でソートする。・ 選択可能な組織名が複数の場合、初期値として ”―選択してください―”を選択状態にする。・ 選択可能な組織名が単一の場合、初期値として ユーザ情報の組織名1を選択状態にする。
ユーザレベル	組織名プルダウン生成内容								
本社	<ul style="list-style-type: none">・ DBに登録された未削除の情報から生成する。・ 組織コードの昇順でソートする。・ 選択可能な組織名が複数の場合、初期値として ”―選択してください―”を選択状態にする。・ 選択可能な組織名が単一の場合、初期値として ユーザ情報の組織名1を選択状態にする。								
支店 グループ会社	<ul style="list-style-type: none">・ DBに登録された未削除の情報から、ログイン中ユーザの 組織コード(1～10)と一致する情報から生成する。・ 組織コードの昇順でソートする。・ 選択可能な組織名が複数の場合、初期値として ”―選択してください―”を選択状態にする。・ 選択可能な組織名が単一の場合、初期値として ユーザ情報の組織名1を選択状態にする。								

システム名 災対用ビル別情報マップ			
章番号 第3章 機能設計			
機能名			
3. 1. 7 ビルデータ登録			
画面名 3. 1. 7. 2 ビルデータ登録			
【1】イベント 2/3			
No.	項目名	トリガー	処理内容
2	クリアボタン	押下時	<p><2.1 前提条件> 2.1.1 クリアボタンを押下する。</p> <p><2.2 クリア処理> 2.2.1 確認ダイアログを表示する。(NA0001) 「入力情報をクリアします。よろしいですか？」OK・キャンセル OK押下：次の処理(2.2.2)へ進む。 キャンセル押下：処理を抜ける。 2.2.2 すべての入力項目(プルダウン、ラジオボタン含む)を初期表示時の状態に戻す。 2.2.3 メッセージエリアを初期化する。</p>
3	会社名(選択／入力)	チェック切替時	<p><3.1 前提条件> 3.1.1 会社名(選択／入力)のチェックON/OFFを切り替える。</p> <p><3.2 会社名欄入力制御処理> 3.2.1 会社名(選択／入力)のチェック状態に応じて会社名欄への入力を制御する。 ”選択”ON時： 会社名プルダウンを活性化する。 会社名(入力)欄を非活性化し、値を「空欄」に変更する。 ”入力”ON時： 会社名プルダウンを非活性化する。 会社名(入力)欄を活性化する。</p>
4	登録ボタン	押下時	<p><4.1 前提条件> 4.1.1 登録ボタンを押下する。</p> <p><4.2 登録確定処理> 4.2.1 確認ダイアログを表示する。(NG0001) 「ビルデータ情報を登録します。よろしいですか？」OK・キャンセル OK押下：次の処理(4.2.2)へ進む。 キャンセル押下：処理を抜ける。 4.2.2 必須入力チェック ・チェック内容は、【2】の必須入力チェックを参照。 4.2.3 属性チェック ・チェック内容は、【2】の属性チェックを参照。 ・未入力の場合、チェックしない。 4.2.4 一意チェック ・チェック内容は、【2】の一意チェックを参照。 4.2.5 住所存在チェック ・チェック内容は、【2】の住所存在チェックを参照。</p>

システム名 災対用ビル別情報マップ

章番号 第3章 機能設計

機能名

3. 1. 7 ビルデータ登録

画面名 3. 1. 7. 2 ビルデータ登録

【1】イベント 3/3

No.	項目名	トリガー	
	処理内容		
4	4.2.6 会社情報をDB登録に登録する。 ・会社名(選択/入力)ラジオボタンが”入力”の場合、会社マスタをDBに登録する。 ・会社名が一致する会社マスタが、DBに存在する: DB登録はせずに、会社IDのみ取得する。 ・会社名が一致する会社マスタが、DBに存在しない: 会社名をDBに登録して、会社IDを取得する。 4.2.7 入力内容をDBに登録する。 4.2.8 完了をビルデータ詳細画面のメッセージエリアに表示する。(NA0002) 「以下の内容で登録しました。」 4.2.9 ビルデータ詳細画面に遷移する。		
5	地図に戻るボタン	クリック時	
	<5.1 前提条件> 5.1.1 地図に戻るボタンを押す。		
	<5.2 戻る処理> 5.2.1 地図画面に戻る。		
6	前に戻るボタン	クリック時	
	<6.1 前提条件> 6.1.1 前に戻るボタンを押す。		
	<6.2 戻る処理> 6.2.1 前画面に戻る。		

システム名	災対用ビル別情報マップ
章番号	第3章 機能設計
機能名	
3. 1. 7 ビルデータ登録	
画面名	3. 1. 7. 2 ビルデータ登録

【2】チェック処理 1/2

No.	名称	OKとなる条件		
		エラーの条件	エラーメッセージ	表示場所
1	必須入力チェック	必須項目(※3)が入力されていること。		
		上記条件を満たさない。	EA0001	メッセージエリア
2	属性チェック (全半角)	”全半角”項目(※4)について、半角 + 全角(機種依存文字『ローマ数字、マルつき数字、単位、カッコつき文字』等を除く)のみ入力していること。		
		上記条件を満たさない。	EA0007	メッセージエリア
3	属性チェック (半角英数記号)	”半角英数記号”項目(※5)について、半角英数記号のみ入力していること。		
		上記条件を満たさない。	EA0008	メッセージエリア
4	属性チェック (数字)	”数字”項目(※6)について、数字のみ入力していること。		
		上記条件を満たさない。	EA0002	メッセージエリア
5	一意チェック	同じ組織コード／ビルコード／会社IDを持つ未削除のビルデータ情報が存在しないこと。		
		上記条件を満たさない。	EA0014	メッセージエリア
6	住所存在チェック	入力された住所がシステム上に存在する住所であること。		
		上記条件を満たさない。	EG0005	メッセージエリア

※1 エラーメッセージについては、「メッセージ一覧」を参照のこと。

※2 エラーメッセージの表示場所については、「標準化設計」を参照のこと。

※3 必須項目 1/2

項目名	トリガー
ビルコード 組織名 ビル名 会社名 正社員数(東日本社員) 正社員数(NTT在籍出向者) 正社員数(他社出向者) 正社員数(NTT転籍者) 正社員数(自社採用社員) 正社員数(年俸契約社員) 正社員数(NTTOB社員) 正社員数(他社OB社員) 正社員数(退職・再雇用社員)	(登録ボタン押下)

システム名

災対用ビル別情報マップ

章番号

第3章 機能設計

機能名

3. 1. 7 ビルデータ登録

画面名

3. 1. 7. 2 ビルデータ登録

【2】チェック処理 2/2

※3 必須項目 2/2

項目名	トリガー
非正社員数(臨時雇(パート))	(登録ボタン押下)
非正社員数(嘱託)	
非正社員数(その他の契約社員)	
非正社員数(人材派遣)	
非正社員数(60歳超え契約社員)	
住所	

※4 "全半角"項目

項目名	トリガー
ビル名	(登録ボタン押下)
会社名("入力"の場合)	
住所	
代表者	

※5 "半角英数記号"項目

項目名	トリガー
郵便番号(数字またはハイフンのみ可)	(登録ボタン押下)
電話番号(数字またはハイフンのみ可)	
FAX番号(数字またはハイフンのみ可)	

※6 "数字"項目

項目名	トリガー
ビルコード	(登録ボタン押下)
正社員数(東日本社員)	
正社員数(NTT在籍出向者)	
正社員数(他社出向者)	
正社員数(NTT転籍者)	
正社員数(自社採用社員)	
正社員数(年俸契約社員)	
正社員数(NTTOB社員)	
正社員数(他社OB社員)	
正社員数(退職・再雇用社員)	
非正社員数(臨時雇(パート))	
非正社員数(嘱託)	
非正社員数(その他の契約社員)	
非正社員数(人材派遣)	
非正社員数(60歳超え契約社員)	

システム名

災対用ビル別情報マップ

章番号

第3章 機能設計

機能名

3. 1. 7 ビルデータ登録

画面名

3. 1. 7. 3 ビルデータ詳細

【1】イベント 1/2

No.	項目名	トリガー	処理内容																
1	—	初期表示	<div><div><1.1 前提条件></div><div>1.1.1 ビルデータ一覧画面より遷移する。</div><div>1.1.2 ビルデータ登録画面より遷移する。</div><div>1.1.3 ビルデータ修正画面より遷移する。</div><div><1.2 初期処理></div><div>1.2.1 ヘッダーバーを初期化する。</div><div><div>・ ログイン中ユーザのユーザ名と組織名1をDBから取得する。</div><div>・ ユーザ名をヘッダー文言①に、組織名1をヘッダー文言②に表示する。</div></div><div>1.2.2 前画面にて指定された行のビルデータ情報を抽出する。</div><div>1.2.3 修正ボタン、削除ボタンの表示／非表示の切り替えを、</div><div>ログイン中ユーザの権限(ユーザレベル)に従って行う。</div><table><tr><th>ユーザレベル</th><th>ボタンの表示／非表示</th></tr><tr><td>本社</td><td>・ 表示する。</td></tr><tr><td>支店</td><td>・ ログイン中ユーザの組織名(1～10)と、</td></tr><tr><td>グループ会社</td><td>抽出したビルデータ情報の組織コードが一致する場合：</td></tr><tr><td></td><td>・ 表示する。</td></tr><tr><td></td><td>・ ログイン中ユーザの組織名(1～10)と、</td></tr><tr><td></td><td>抽出したビルデータ情報の組織コードが一致しない場合：</td></tr><tr><td></td><td>・ 非表示にする。</td></tr></table><div>1.2.4 抽出したビルデータ情報のビルコードを、ヘッダー文言③に表示する。</div><div>1.2.5 抽出したビルデータ情報を、ビルデータ詳細エリアに表示する。</div></div>	ユーザレベル	ボタンの表示／非表示	本社	・ 表示する。	支店	・ ログイン中ユーザの組織名(1～10)と、	グループ会社	抽出したビルデータ情報の組織コードが一致する場合：		・ 表示する。		・ ログイン中ユーザの組織名(1～10)と、		抽出したビルデータ情報の組織コードが一致しない場合：		・ 非表示にする。
ユーザレベル	ボタンの表示／非表示																		
本社	・ 表示する。																		
支店	・ ログイン中ユーザの組織名(1～10)と、																		
グループ会社	抽出したビルデータ情報の組織コードが一致する場合：																		
	・ 表示する。																		
	・ ログイン中ユーザの組織名(1～10)と、																		
	抽出したビルデータ情報の組織コードが一致しない場合：																		
	・ 非表示にする。																		

| 2 | 修正ボタン | クリック時 | <2.1 前提条件> 2.1.1 修正ボタンを押下する。 <2.2 画面遷移処理> 2.2.1 指定したビルデータ情報のビルデータ修正画面へ遷移する。 |

システム名

災対用ビル別情報マップ

章番号

第3章 機能設計

機能名

3. 1. 7 ビルデータ登録

画面名

3. 1. 7. 3 ビルデータ詳細

【1】イベント 2/2

No.	項目名	トリガー	処理内容
3	削除ボタン	クリック時	<div><3.1 前提条件> 3.1.1 削除ボタンを押下する。</div> <div><3.2 削除確定処理> 3.2.1 確認ダイアログを表示する。(NG0003) 「ビルデータ情報を削除します。よろしいですか？」OK・キャンセル OK押下：次の処理(3.2.2)へ進む。 キャンセル押下：処理を抜ける。 3.2.2 ユーザ情報有無チェック ・チェック内容は、【2】のユーザ情報有無チェックを参照。 3.2.3 備蓄品情報有無チェック ・チェック内容は、【2】の備蓄品情報有無チェックを参照。 3.2.4 被災状況情報有無チェック ・チェック内容は、【2】の被災状況情報有無チェックを参照。 3.2.5 処理(3.2.3)、または処理(3.2.4)にて、チェックNGとなった場合、 削除最終確認ダイアログを表示する。(NG0008) 「備蓄品情報、および被災状況情報も同時に削除されます。本当によろしいですか？」OK・キャンセル OK押下：次の処理(3.2.6)へ進む。 キャンセル押下：処理を抜ける。 3.2.6 排他チェック ・チェック内容は、【2】の排他チェックを参照。 3.2.7 備蓄品情報の削除処理を行う。 3.2.8 被災状況情報の削除処理を行う。 3.2.9 削除更新処理を行う。 3.2.10 完了をビルデータ一覧画面のメッセージエリアに表示する。(NG0004) 「ビルデータ情報を削除しました。」 3.2.11 ビルデータ一覧画面に遷移する。</div>
4	地図に戻るボタン	クリック時	<div><4.1 前提条件> 4.1.1 地図に戻るボタンを押す。</div> <div><4.2 戻る処理> 4.2.1 地図画面に戻る。</div>
5	前に戻るボタン	クリック時	<div><5.1 前提条件> 5.1.1 前に戻るボタンを押す。</div> <div><5.2 戻る処理> 5.2.1 前画面に戻る。</div>

システム名

災対用ビル別情報マップ

章番号

第3章 機能設計

機能名

3. 1. 7 ビルデータ登録

画面名

3. 1. 7. 3 ビルデータ詳細

【2】チェック処理 1/1

No.	名称	OKとなる条件		
		エラーの条件	エラーメッセージ	表示場所
1	ユーザ情報有無 チェック	同じ組織コード／ビルコード／会社IDを持つ未削除のユーザ情報が存在しないこと。		
		上記条件を満たさない。	EG0002	メッセージエリア
2	備蓄品情報有無 チェック	同じ組織コード／ビルコード／会社IDを持つ未削除の備蓄品情報が存在しないこと。		
		上記条件を満たさない。	－	－
3	被災状況情報有無 チェック	同じ組織コード／ビルコード／会社IDを持つ未削除の被災状況情報が存在しないこと。		
		上記条件を満たさない。	－	－
4	排他チェック	表示中のビルデータ情報が最新であること。		
		上記条件を満たさない。	EA0013	ビルデータ一覧画面の メッセージエリア

※1 エラーメッセージについては、「メッセージ一覧」を参照のこと。

※2 エラーメッセージの表示場所については、「標準化設計」を参照のこと。

システム名

災対用ビル別情報マップ

章番号

第3章 機能設計

機能名

3. 1. 7 ビルデータ登録

画面名

3. 1. 7. 4 ビルデータ修正

【1】イベント 1/3

No.	項目名	トリガー	処理内容						
1	—	初期表示	<div><1.1 前提条件> 1.1.1 ビルデータ詳細画面より遷移する。</div> <div><1.2 初期処理> 1.2.1 画面入力項目を初期化する。 1.2.2 メッセージエリアを初期化する。 1.2.3 ヘッダーバーを初期化する。<div><div>・ログイン中ユーザのユーザ名と組織名1をDBから取得する。</div><div>・ユーザ名をヘッダー文言①に、組織名1をヘッダー文言②に表示する。</div></div> 1.2.4 前画面にて指定された組織コード／ビルコード／会社IDから、ビルデータ情報を抽出する。 1.2.5 組織名プルダウンを、ログイン中ユーザの権限(ユーザレベル)に従って生成する。<table><tr><th>ユーザレベル</th><th>組織名プルダウン生成内容</th></tr><tr><td>本社</td><td><div>・DBに登録された未削除の情報から生成する。</div><div>・組織コードの昇順でソートする。</div></td></tr><tr><td>支店 グループ会社</td><td><div>・DBに登録された未削除の情報から、ログイン中ユーザの組織コード(1～10)と一致する情報から生成する。</div><div>・組織コードの昇順でソートする。</div></td></tr></table> 1.2.6 会社名プルダウンを、DBに登録された未削除の情報から生成する。<div>・会社IDの昇順でソートする。</div> 1.2.7 会社名(選択／入力)ラジオボタン項目について初期値を設定する。<div>・”選択”を選択状態にする。</div> 1.2.8 会社名欄の初期化を行う。<div>・会社名プルダウンを活性化する。</div><div>・会社名(入力)欄を非活性化する。</div> 1.2.9 抽出したビルデータ情報のビルコードを、ヘッダー文言③に表示する。 1.2.10 抽出したビルデータ情報を、ビルデータ修正エリアに初期表示する。</div>	ユーザレベル	組織名プルダウン生成内容	本社	<div>・DBに登録された未削除の情報から生成する。</div> <div>・組織コードの昇順でソートする。</div>	支店 グループ会社	<div>・DBに登録された未削除の情報から、ログイン中ユーザの組織コード(1～10)と一致する情報から生成する。</div> <div>・組織コードの昇順でソートする。</div>
ユーザレベル	組織名プルダウン生成内容								
本社	<div>・DBに登録された未削除の情報から生成する。</div> <div>・組織コードの昇順でソートする。</div>								
支店 グループ会社	<div>・DBに登録された未削除の情報から、ログイン中ユーザの組織コード(1～10)と一致する情報から生成する。</div> <div>・組織コードの昇順でソートする。</div>								
2	クリアボタン	押下時	<div><2.1 前提条件> 2.1.1 クリアボタンを押下する。</div> <div><2.2 クリア処理> 2.2.1 確認ダイアログを表示する。(NA0001) 「入力情報をクリアします。よろしいですか？」OK・キャンセル OK押下: 次の処理(2.2.2)へ進む。 キャンセル押下: 処理を抜ける。 2.2.2 すべての入力(プルダウン、ラジオボタン含む)項目を初期表示時の状態に戻す。 2.2.3 メッセージエリアを初期化する。</div>						

システム名 災対用ビル別情報マップ

章番号 第3章 機能設計

機能名

3. 1. 7 ビルデータ登録

画面名 3. 1. 7. 4 ビルデータ修正

【1】イベント 2/3

No.	項目名	トリガー	処理内容
3	会社名(選択/入力)	チェック切替時	<p><3.1 前提条件> 3.1.1 会社名(選択/入力)のチェックON/OFFを切り替える。</p> <p><3.2 会社名欄入力制御処理> 3.2.1 会社名(選択/入力)のチェック状態に応じて会社名欄への入力を制御する。 "選択"ON時: 会社名プルダウンを活性化する。 会社名(入力)欄を非活性化し、値を「空欄」に変更する。 "入力"ON時: 会社名プルダウンを非活性化する。 会社名(入力)欄を活性化する。</p>
4	登録ボタン	押下時	<p><4.1 前提条件> 4.1.1 登録ボタンを押下する。</p> <p><4.2 登録確定処理> 4.2.1 確認ダイアログを表示する。(NG0002) 「ビルデータ情報を修正します。よろしいですか？」OK・キャンセル OK押下: 次の処理(4.2.2)へ進む。 キャンセル押下: 処理を抜ける。 4.2.2 必須入力チェック ・チェック内容は、【2】の必須入力チェックを参照。 4.2.3 属性チェック ・チェック内容は、【2】の属性チェックを参照。 ・未入力の場合、チェックしない。 4.2.4 一意チェック ・チェック内容は、【2】の一意チェックを参照。 4.2.5 住所存在チェック ・チェック内容は、【2】の住所存在チェックを参照。 4.2.6 排他チェック ・チェック内容は、【2】の排他チェックを参照。 4.2.7 会社情報をDBに登録する。 ・会社名(選択/入力)ラジオボタンが"入力"の場合、会社マスタをDBに登録する。 ・会社名が一致する会社マスタが、DBに存在する: DB登録はせずに、会社IDのみ取得する。 ・会社名が一致する会社マスタが、DBに存在しない: 会社名をDBに登録して会社IDを取得する。</p>

システム名

災対用ビル別情報マップ

章番号

第3章 機能設計

機能名

3. 1. 7 ビルデータ登録

画面名

3. 1. 7. 4 ビルデータ修正

【1】イベント 3/3

No.	項目名	トリガー	処理内容
4	4.2.8 組織コードまたは、会社IDが変更された場合、DBに登録されているユーザ情報の付替を行う。 ・ 変更前の組織コード／ビルコード／会社IDに紐づく、ユーザ情報が、DBに存在するかチェックする。 存在する： ・ ユーザ情報の組織コード／会社IDを、修正後の値で上書き更新する。 存在しない： ・ 次の処理(4.2.9)へ進む。 4.2.9 組織コードまたは、会社IDが変更された場合、DBに登録されている被災状況情報の付替を行う。 ・ 変更前の組織コード／ビルコード／会社IDに紐づく、被災状況情報が、DBに存在するかチェックする。 存在する： ・ 被災状況情報の組織コード／会社IDを、修正後の値で上書き更新する。 存在しない： ・ 次の処理(4.2.10)へ進む。 4.2.10 組織コードまたは、会社IDが変更された場合、DBに登録されている備蓄品情報の付替を行う。 ・ 変更前の組織コード／ビルコード／会社IDに紐づく、備蓄品情報が、DBに存在するかチェックする。 存在する： ・ 備蓄品情報の組織コード／会社IDを、修正後の値で上書き更新する。 存在しない： ・ 次の処理(4.2.11)へ進む。 4.2.11 DBに存在する表示中のビルデータ情報に対し、入力内容を上書きする。 4.2.12 完了をビルデータ詳細画面のメッセージエリアに表示する。(NA0002) 「以下の内容で登録しました。」 4.2.13 ビルデータ詳細画面に遷移する。		
5	地図に戻るボタン	クリック時	<5.1 前提条件> 5.1.1 地図に戻るボタンを押す。 <5.2 戻る処理> 5.2.1 地図画面に戻る。
6	前に戻るボタン	クリック時	<6.1 前提条件> 6.1.1 前に戻るボタンを押す。 <6.2 戻る処理> 6.2.1 前画面に戻る。

システム名 災対用ビル別情報マップ

章番号 第3章 機能設計

機能名

3. 1. 7 ビルデータ登録

画面名 3. 1. 7. 4 ビルデータ修正

【2】チェック処理 1/3

No.	名称	OKとなる条件		
		エラーの条件	エラーメッセージ	表示場所
1	必須入力チェック	必須項目(※3)が入力されていること。		
		上記条件を満たさない。	EA0001	メッセージエリア
2	属性チェック (全半角)	”全半角”項目(※4)について、半角 + 全角(機種依存文字『ローマ数字、マルつき数字、単位、カッコつき文字』等を除く)のみ入力していること。		
		上記条件を満たさない。	EA0007	メッセージエリア
3	属性チェック (半角英数記号)	”半角英数記号”項目(※5)について、半角英数記号のみ入力していること。		
		上記条件を満たさない。	EA0008	メッセージエリア
4	属性チェック (数字)	”数字”項目(※6)について、数字のみ入力していること。		
		上記条件を満たさない。	EA0002	メッセージエリア
5	一意チェック	自分以外の同じ組織コード/ビルコード/会社IDを持つ未削除のビルデータ情報が存在しないこと。		
		上記条件を満たさない。	EA0014	メッセージエリア
6	住所存在チェック	入力された住所がシステム上に存在する住所であること。		
		上記条件を満たさない。	EG0005	メッセージエリア
7	排他チェック	表示中のビルデータ情報が最新であること。		
		上記条件を満たさない。	EA0013	ビルデーター一覧画面の メッセージエリア

※1 エラーメッセージについては、「メッセージ一覧」を参照のこと。

※2 エラーメッセージの表示場所については、「標準化設計」を参照のこと。

システム名

災対用ビル別情報マップ

章番号

第3章 機能設計

機能名

3. 1. 7 ビルデータ登録

画面名

3. 1. 7. 4 ビルデータ修正

【2】チェック処理 2/3

※3 必須項目

項目名	トリガー
組織名	(登録ボタン押下)
ビル名	
会社名	
正社員数(東日本社員)	
正社員数(NTT在籍出向者)	
正社員数(他社出向者)	
正社員数(NTT転籍者)	
正社員数(自社採用社員)	
正社員数(年俸契約社員)	
正社員数(NTTOB社員)	
正社員数(他社OB社員)	
正社員数(退職・再雇用社員)	
非正社員数(臨時雇(パート))	
非正社員数(嘱託)	
非正社員数(その他の契約社員)	
非正社員数(人材派遣)	
非正社員数(60歳超え契約社員)	
住所	

※4 "全半角"項目

項目名	トリガー
ビル名	(登録ボタン押下)
会社名("入力"の場合)	
住所	
代表者	

※5 "半角英数記号"項目

項目名	トリガー
郵便番号(数字またはハイフンのみ可)	(登録ボタン押下)
電話番号(数字またはハイフンのみ可)	
FAX番号(数字またはハイフンのみ可)	

システム名

災対用ビル別情報マップ

章番号

第3章 機能設計

機能名

3. 1. 7 ビルデータ登録

画面名

3. 1. 7. 4 ビルデータ修正

【2】チェック処理 3/3

※6 ”数字”項目

項目名	トリガー
正社員数(東日本社員)	(登録ボタン押下)
正社員数(NTT在籍出向者)	
正社員数(他社出向者)	
正社員数(NTT転籍者)	
正社員数(自社採用社員)	
正社員数(年俸契約社員)	
正社員数(NTTOB社員)	
正社員数(他社OB社員)	
正社員数(退職・再雇用社員)	
非正社員数(臨時雇(パート))	
非正社員数(嘱託)	
非正社員数(その他の契約社員)	
非正社員数(人材派遣)	
非正社員数(60歳超え契約社員)	

システム名 災対用ビル別情報マップ

章番号 第3章 機能設計

機能名

3. 1. 7 ビルデータ登録

画面名 3. 1. 7. 5 ビルデータCSV登録

【1】イベント 1/5

No.	項目名	トリガー	処理内容						
1	—	初期表示	<div><div><1.1 前提条件></div><div>1.1.1 ビルデータ一覧画面より遷移する。</div><div><1.2 初期処理></div><div>1.2.1 CSVファイル欄の項目を初期化する。</div><div>1.2.2 メッセージエリアを初期化する。</div><div>1.2.3 ヘッダーバーを初期化する。<div><div>・ ログイン中ユーザのユーザ名と組織名1をDBから取得する。</div><div>・ ユーザ名をヘッダー文言①に、組織名1をヘッダー文言②に表示する。</div></div></div><div>1.2.4 組織名プルダウンを、ログイン中ユーザの権限(ユーザレベル)に従って生成する。</div><table><tr><th>ユーザレベル</th><th>組織名プルダウン生成内容</th></tr><tr><td>本社</td><td><div><div>・ DBに登録された未削除の情報から生成する。</div><div>・ 組織コードの昇順でソートする。</div><div>・ 選択可能な組織名が複数の場合、初期値として ”―選択してください―”を選択状態にする。</div><div>・ 選択可能な組織名が単一の場合、初期値として ユーザ情報の組織名1を選択状態にする。</div></div></td></tr><tr><td>支店 グループ会社</td><td><div><div>・ DBに登録された未削除の情報から、ログイン中ユーザの 組織コード(1～10)と一致する情報から生成する。</div><div>・ 組織コードの昇順でソートする。</div><div>・ 選択可能な組織名が複数の場合、初期値として ”―選択してください―”を選択状態にする。</div><div>・ 選択可能な組織名が単一の場合、初期値として ユーザ情報の組織名1を選択状態にする。</div></div></td></tr></table></div>	ユーザレベル	組織名プルダウン生成内容	本社	<div><div>・ DBに登録された未削除の情報から生成する。</div><div>・ 組織コードの昇順でソートする。</div><div>・ 選択可能な組織名が複数の場合、初期値として ”―選択してください―”を選択状態にする。</div><div>・ 選択可能な組織名が単一の場合、初期値として ユーザ情報の組織名1を選択状態にする。</div></div>	支店 グループ会社	<div><div>・ DBに登録された未削除の情報から、ログイン中ユーザの 組織コード(1～10)と一致する情報から生成する。</div><div>・ 組織コードの昇順でソートする。</div><div>・ 選択可能な組織名が複数の場合、初期値として ”―選択してください―”を選択状態にする。</div><div>・ 選択可能な組織名が単一の場合、初期値として ユーザ情報の組織名1を選択状態にする。</div></div>
ユーザレベル	組織名プルダウン生成内容								
本社	<div><div>・ DBに登録された未削除の情報から生成する。</div><div>・ 組織コードの昇順でソートする。</div><div>・ 選択可能な組織名が複数の場合、初期値として ”―選択してください―”を選択状態にする。</div><div>・ 選択可能な組織名が単一の場合、初期値として ユーザ情報の組織名1を選択状態にする。</div></div>								
支店 グループ会社	<div><div>・ DBに登録された未削除の情報から、ログイン中ユーザの 組織コード(1～10)と一致する情報から生成する。</div><div>・ 組織コードの昇順でソートする。</div><div>・ 選択可能な組織名が複数の場合、初期値として ”―選択してください―”を選択状態にする。</div><div>・ 選択可能な組織名が単一の場合、初期値として ユーザ情報の組織名1を選択状態にする。</div></div>								
2	クリアボタン	押下時	<div><div><2.1 前提条件></div><div>2.1.1 クリアボタンを押下する。</div><div><2.2 クリア処理></div><div>2.2.1 確認ダイアログを表示する。(NA0001)<div><div>「入力情報をクリアします。よろしいですか？」OK・キャンセル</div><div>OK押下：次の処理(2.2.2)へ進む。</div><div>キャンセル押下：処理を抜ける。</div></div></div><div>2.2.2 すべての入力項目を初期表示時の状態に戻す。</div><div>2.2.3 メッセージエリアを初期化する。</div></div>						

システム名 災対用ビル別情報マップ

章番号 第3章 機能設計

機能名

3. 1. 7 ビルデータ登録

画面名 3. 1. 7. 5 ビルデータCSV登録

【1】イベント 2/5

No.	項目名	トリガー	処理内容
3	参照ボタン	クリック時	<p><3.1 前提条件></p> <p>3.1.1 参照ボタンを押下する。</p> <p><3.2 ファイル参照処理></p> <p>3.2.1 ウィンドウズファイルダイアログを開く。</p> <p> [初期設定]</p> <ul style="list-style-type: none">・ダイアログはモーダルとし、他の操作をできなくする。・ファイルの手動入力是不可とする。 <p>3.2.2 ウィンドウズファイルダイアログで、インポートするCSVファイルを指定する。</p> <p>3.2.3 "開く"ボタン押下で、CSVファイル欄に指定したフォルダ名、ファイル名を表示する。</p> <p>3.2.4 "キャンセル"ボタン押下で、ウィンドウズダイアログが閉じ、CSVファイル欄は更新しない。</p> <p>3.2.5 ウィンドウズファイルダイアログを閉じて、ビルデータCSV登録画面に戻る。</p>
4	登録ボタン	クリック時	<p><4.1 前提条件></p> <p>4.1.1 登録ボタンを押下する。</p> <p><4.2 登録確定処理></p> <p>4.2.1 確認ダイアログを表示する。(NG0001)</p> <p> 「ビルデータ情報を登録します。よろしいですか？」OK・キャンセル</p> <p> OK押下：次の処理(4.2.2)へ進む。</p> <p> キャンセル押下：処理を抜ける。</p> <p>4.2.2 画面入力必須チェックを行う。</p> <ul style="list-style-type: none">・チェック内容は、【2】の画面入力必須チェックを参照。・エラーの場合は、エラーメッセージを表示し、処理を抜ける。 <p>4.2.3 ビルデータCSV登録処理の二重起動有無をチェックする。</p> <ul style="list-style-type: none">・チェック内容は、【2】の二重起動有無チェックを参照。・エラーの場合は、エラーメッセージを表示し、処理を抜ける。 <p>4.2.4 ファイルの入力有無チェックを行う。</p> <ul style="list-style-type: none">・チェック内容は、【2】のファイルの入力有無チェックを参照。・エラーの場合は、エラーメッセージを表示し、処理を抜ける。 <p>4.2.5 ファイルの拡張子チェックを行う。</p> <ul style="list-style-type: none">・チェック内容は、【2】のファイル拡張子チェックを参照。・エラーの場合は、エラーメッセージを表示し、処理を抜ける。

3. 1. 7 ビルデータ登録

画面名 3. 1. 7. 5 ビルデータCSV登録

【1】イベント 3/5

No.	項目名	トリガー	処理内容							
4	4.2.6 ファイル読取権限チェックを行う。									
	・ チェック内容は、【2】のファイル読取権限チェックを参照。									
	・ エラーの場合は、エラーメッセージを表示し、処理を抜ける。									
	4.2.7 ファイルサイズチェックを行う。									
	・ チェック内容は、【2】のファイルサイズチェックを参照。									
	・ エラーの場合は、エラーメッセージを表示し、処理を抜ける。									
	4.2.8 ビルデータCSVファイルを読み、件数チェックを行う。									
	・ チェック内容は、【2】のファイル件数チェックを参照。									
	・ エラーの場合は、エラーメッセージを表示し、処理を抜ける。									
	4.2.9 CSVファイルを読み、各データ毎のチェック処理を全データ行い、エラーを検出した場合はエラーファイルにエラーの内容を出力する。									
・ エラーファイルには下記の情報を出力する。										
<table><tr><th>No</th><th>出力項目</th></tr><tr><td>1</td><td>エラーを検出したCSVファイルの行数</td></tr><tr><td>2</td><td>エラーを検出した項目名</td></tr><tr><td>3</td><td>エラーメッセージ</td></tr></table>			No	出力項目	1	エラーを検出したCSVファイルの行数	2	エラーを検出した項目名	3	エラーメッセージ
No	出力項目									
1	エラーを検出したCSVファイルの行数									
2	エラーを検出した項目名									
3	エラーメッセージ									
例) 行数 : 21行目										
項目名 : ビル名										
エラーメッセージ : ビル名は必須項目です。ビル名を入力して下さい。										
4.2.9.1 ファイルレイアウトのチェック										
・ チェック内容は、【2】のファイルレイアウトチェックを参照。										
4.2.9.2 項目の必須チェックを行う										
・ チェック内容は、【2】の必須チェックを参照。										
4.2.9.3 項目の文字数チェックを行う										
・ チェック内容は、【2】の文字数チェックを参照。										
4.2.9.4 項目の属性チェックを行う										
・ チェック内容は、【2】の属性チェックを参照。										
4.2.9.5 住所存在チェックを行う										
・ チェック内容は、【2】の住所存在チェックを参照。										
4.2.9.6 組織名存在チェックを行う										
・ チェック内容は、【2】の組織名存在チェックを参照。										
4.2.9.7 ファイル内一意チェックを行う										
・ チェック内容は、【2】のファイル内一意を参照。										

3. 1. 7 ビルデータ登録

画面名 3. 1. 7. 5 ビルデータCSV登録

【1】イベント 4/5

No.	項目名	トリガー	処理内容													
4	4.2.10	チェック結果の判定を行う。	<ul style="list-style-type: none">全てのデータがチェックOKの場合：<ul style="list-style-type: none">次の処理(4.2.11)へ進む。1つでもチェックNGの場合：<ul style="list-style-type: none">エラーメッセージエリアに下記情報を表示する。(EZ0001) 「ビルデータ情報の登録でエラーが発生しました。 エラー内容はエラーファイルを確認して下さい。 <u>ビルデータ情報 エラーファイル yyyyymmddhhmmss.csv</u>」エラーファイルを別途生成し、エラーファイルのリンクをメッセージエリアに表示する。処理を抜ける。													
	4.2.11	ビルデータ情報および会社マスタをDBに登録または更新する。	4.2.11.1 会社マスタをDBに新規登録する。 <ul style="list-style-type: none">会社名が会社マスタに存在しない場合：<ul style="list-style-type: none">新規に会社をDBに登録する。会社名が会社マスタに存在する場合：<ul style="list-style-type: none">次の処理(4.2.11.2)へ進む。													
	4.2.11.2	ビルデータ情報をDBに登録または更新する。	※住所を更新する際の注意 <table><tr><th>ビルデータ情報</th><th>住所更新フラグ</th><th>動作</th></tr><tr><td>存在しない。</td><td>—</td><td>住所を更新する。</td></tr><tr><td rowspan="3">存在する。</td><td>"" : 更新しない</td><td>住所を更新しない。</td></tr><tr><td>0 : 更新しない</td><td>住所を更新しない。</td></tr><tr><td>1 : 更新する</td><td>住所を更新する。</td></tr></table> <ul style="list-style-type: none">組織コード／ビルコード／会社IDに紐づく、未削除のビルデータ情報が、DBに存在しない場合：<ul style="list-style-type: none">新規にビルデータをDBに登録する。組織コード／ビルコード／会社IDに紐づく、未削除のビルデータ情報が、DBに存在する場合：<ul style="list-style-type: none">該当のビルデータを上書き更新する。	ビルデータ情報	住所更新フラグ	動作	存在しない。	—	住所を更新する。	存在する。	"" : 更新しない	住所を更新しない。	0 : 更新しない	住所を更新しない。	1 : 更新する	住所を更新する。
ビルデータ情報	住所更新フラグ	動作														
存在しない。	—	住所を更新する。														
存在する。	"" : 更新しない	住所を更新しない。														
	0 : 更新しない	住所を更新しない。														
	1 : 更新する	住所を更新する。														
	4.2.12	完了をビルデータ一覧画面のメッセージエリアに表示する。(NG0007)	「ビルデータ情報を登録しました。」													
	4.2.13	ビルデータ一覧画面に遷移する。														

システム名

災対用ビル別情報マップ

章番号

第3章 機能設計

機能名

3. 1. 7 ビルデータ登録

画面名

3. 1. 7. 5 ビルデータCSV登録

【1】イベント 5/5

No.	項目名	トリガー	処理内容
5	地図に戻るボタン	クリック時	
	<5.1 前提条件> 5.1.1 地図に戻るボタンを押す。		
	<5.2 戻る処理> 5.2.1 地図画面に戻る。		
6	前に戻るボタン	クリック時	
	<6.1 前提条件> 6.1.1 前に戻るボタンを押す。		
	<6.2 戻る処理> 6.2.1 前画面に戻る。		

システム名 災対用ビル別情報マップ

章番号 第3章 機能設計

機能名

3. 1. 7 ビルデータ登録

画面名 3. 1. 7. 5 ビルデータCSV登録

【2】チェック処理 1/4

No.	名称	OKとなる条件		
		エラーの条件	エラーメッセージ	表示場所
1	画面入力必須チェック	画面入力必須項目(※4)が入力されていること。		
		上記条件を満たさない。	EA0001	メッセージエリア
2	二重起動有無チェック	他のPC、ブラウザでビルデータCSV登録処理が行われていないこと。		
		上記条件を満たさない。	EZ0020	メッセージエリア
3	ファイルの入力有無チェック	CSVファイル名が指定されていること。		
		上記条件を満たさない。	EZ0016	メッセージエリア
4	ファイル拡張子チェック	ファイルの拡張子が”csv”であること。		
		上記条件を満たさない。	EZ0017	メッセージエリア
5	ファイル読取権限チェック	ファイルの読取が可能であること。		
		上記条件を満たさない。	EZ0021	メッセージエリア
6	ファイルサイズチェック	ファイルサイズが1B以上、25MB(パラメータ値)であること。		
		上記条件を満たさない。	EZ0018	メッセージエリア
7	ファイル件数チェック	ファイルで登録するビルデータ件数が3,000件(パラメータ値)以下であること。		
		上記条件を満たさない。	EZ0019	メッセージエリア
8	ファイルレイアウトチェック	ヘッダーエリア②項目およびデータエリアの区切りとして”,”が1行に25個あること。		
		上記条件を満たさない。	EZ0015	メッセージエリア
9	必須入力チェック	必須項目(※5)が入力されていること。		
		上記条件を満たさない。	EZ0002	メッセージエリア
10	文字数チェック	項目(※6)について、入力文字数が指定文字数以下であること。		
		上記条件を満たさない。	EZ0014	メッセージエリア
11	属性チェック (全半角)	”全半角”項目(※7)について、半角 + 全角(機種依存文字『ローマ数字、マルつき数字、単位、カッコつき文字』等を除く)のみ入力していること。		
		上記条件を満たさない。	EZ0008	メッセージエリア

システム名 災対用ビル別情報マップ

章番号 第3章 機能設計

機能名

3. 1. 7 ビルデータ登録

画面名 3. 1. 7. 5 ビルデータCSV登録

【2】チェック処理 2/4

No.	名称	OKとなる条件		
		エラーの条件	エラーメッセージ	表示場所
12	属性チェック (半角英数記号)	”半角英数記号”項目(※8)について、半角英数記号のみ入力していること。		
		上記条件を満たさない。	EZ0009	メッセージエリア
13	属性チェック (数字)	”数字”項目(※9)について、数字のみ入力していること。		
		上記条件を満たさない。	EZ0003	メッセージエリア
14	組織名存在チェック	組織名マスタに”組織名”が存在する。		
		上記条件を満たさない。	EZ0024	メッセージエリア
15	住所存在チェック	住所がシステム上に存在する住所であること。(※10)		
		上記条件を満たさない。	EZ0024	メッセージエリア
16	ファイル内一意チェック	ファイル内に同じ組織名／ビルコード／会社名を持つデータが存在しないこと。		
		上記条件を満たさない。	EZ0022	メッセージエリア

※1 エラーメッセージについては、「メッセージ一覧」を参照のこと。

※2 エラーメッセージの表示場所については、「標準化設計」を参照のこと。

※3 CSVファイルの詳細は「5. 2 ファイル設計 5. 2. 2 ビルデータCSV」を参照のこと。

※4 必須項目(画面入力項目)

項目名	トリガー
組織名	(登録ボタン押下)

※5 必須項目(ファイル内データエリア項目) 1/2

項目名	トリガー
組織名	(登録ボタン押下)
ビルコード	
ビル名	
会社名	
住所	
正社員数(東日本社員)	
正社員数(NTT在籍出向者)	
正社員数(他社出向者)	
正社員数(NTT転籍者)	
正社員数(自社採用社員)	
正社員数(年俸契約社員)	
正社員数(NTTOB社員)	
正社員数(他社OB社員)	
正社員数(退職・再雇用社員)	

システム名 災対用ビル別情報マップ

章番号 第3章 機能設計

機能名

3. 1. 7 ビルデータ登録

画面名 3. 1. 7. 5 ビルデータCSV登録

【2】チェック処理 3/4

※5 必須項目(ファイル内データエリア項目) 2/2

項目名	トリガー
非正社員数(臨時雇(パート))	
非正社員数(嘱託)	
非正社員数(その他の契約社員)	
非正社員数(人材派遣)	
非正社員数(60歳超え契約社員)	

※6 文字数チェック(ファイル内データエリア項目)

項目名	桁数	トリガー
ビルコード	4	(登録ボタン押下)
ビル名	最大50	
会社名	最大50	
郵便番号	最大8	
住所	最大200	
電話番号	最大13	
FAX番号	最大13	
代表者	最大15	
正社員数(東日本社員)	最大5	
正社員数(NTT在籍出向者)	最大5	
正社員数(他社出向者)	最大5	
正社員数(NTT転籍者)	最大5	
正社員数(自社採用社員)	最大5	
正社員数(年俸契約社員)	最大5	
正社員数(NTTOB社員)	最大5	
正社員数(他社OB社員)	最大5	
正社員数(退職・再雇用社員)	最大5	
非正社員数(臨時雇(パート))	最大5	
非正社員数(嘱託)	最大5	
非正社員数(その他の契約社員)	最大5	
非正社員数(人材派遣)	最大5	
非正社員数(60歳超え契約社員)	最大5	

※7 "全半角"項目(ファイル内データエリア項目)

項目名(データエリア)	トリガー
組織名	(登録ボタン押下)
ビル名	
会社名	
住所	
代表者	

※8 "半角英数記号"項目(ファイル内データエリア項目)

項目名	トリガー
郵便番号(数字またはハイフンのみ可)	(登録ボタン押下)
電話番号(数字またはハイフンのみ可)	
FAX番号(数字またはハイフンのみ可)	

システム名

災対用ビル別情報マップ

章番号

第3章 機能設計

機能名

3. 1. 7 ビルデータ登録

画面名

3. 1. 7. 5 ビルデータCSV登録

【2】チェック処理 4/4

※9 “数字”項目（ファイル内データエリア項目）

項目名	トリガー
ビルコード	(登録ボタン押下)
正社員数(東日本社員)	
正社員数(NTT在籍出向者)	
正社員数(他社出向者)	
正社員数(NTT転籍者)	
正社員数(自社採用社員)	
正社員数(年俸契約社員)	
正社員数(NTTOB社員)	
正社員数(他社OB社員)	
正社員数(退職・再雇用社員)	
非正社員数(臨時雇(パート))	
非正社員数(嘱託)	
非正社員数(その他の契約社員)	
非正社員数(人材派遣)	
非正社員数(60歳超え契約社員)	

※10 住所存在チェック(ファイル内データエリア項目)

・以下のパターンに従い、処理をする。

ビルデータ(※10-1)	住所更新フラグ	動作
存在しない。	—	住所存在チェックを実施する。
存在する。	"" : 更新しない	住所存在チェックは行わない。
	0 : 更新しない	住所存在チェックは行わない。
	1 : 更新する	住所存在チェックを実施する。

※10-1 ビルデータのDB取得条件: 組織コード／ビルコード／会社IDに紐づくビルデータ